

競 技 注 意 事 項

- 1 本大会は、2021年度日本陸上競技連盟競技規則と大会要項によって運営する。競技規定 TR16により、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。
- 2 トラック競技の予選で、決勝に進出する資格を得る競技者は、着順またはタイムによって決定する。同タイムによって決勝進出競技者が、規定人数を越える場合は抽選で決定する。(タイムは1/1000秒差までを確認する)
 また、次の種目は着順どりとする。800mの1年女子と2・3年女子は12名、共通男子は8名。1年、2年男子1500mは15名とする。
共通女子1500mと共通男子3000mはタイム予選とする。共通女子1500mは15名、共通男子3000mは18名がタイムにより決勝に進出する資格を得るものとする。また、3年男子1500mはタイム決勝とする。

3 A、B決勝を行う種目について、A決勝レースのみを8位入賞の対象とする。

4 本競技場は全天候型なので、競技に使用するスパイクピンは全天候型のものとし、9mm以下のものを使用すること。(走高跳は12mm以下とする。)

5 競技用シューズの扱いについて

- ① 今大会における競技用シューズに関する規定は右図のように扱う。

区分	種 目	厚 さ
T	800m未満(ハードル)	20mm以内
T	800m以上	25mm以内
F	跳躍・投てき	20mm以内

- ② ただし、今大会においては、投てき競技のみ、競技用シューズの扱いをTR5.5規定の適用除外措置とする。(投てきの競技者については、20mm以上の厚さの靴も可となります。)

② 招集時にシューズの検査を行う。

- 6 ハードルの高さおよびインターバル、砲丸の重さは次のとおりとする。
 男子110mH 高さ 91.4cm インターバル 9.14m
 女子100mH 高さ 76.2cm インターバル 8.00m
 男子砲丸投(5.0kg) 男子四種競技砲丸投(4.0kg)
 女子砲丸投(2.721kg) 女子四種競技砲丸投(2.721kg)

- 7 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。女子走幅跳の予選通過記録は、5m45とする。
 なお、決勝は12名で行う。
 共通男子走高跳 1m50-55-60-65-70-73…以後3cmずつ(練習は1m50と1m60)
 共通男子四種競技 1m30-35-40-45-50-55…以後3cmずつ(練習は1m30と1m40)
 共通女子走高跳 1m30-35-40-45-48…以後3cmずつ(練習は1m30と40)
 共通女子四種競技 1m20-25-30-35…以後3cmずつ(練習は1m20と30)
 共通男子棒高跳 2m00-20-40-60-80-3m00-20-40…以上10cmずつ

- 8 走幅跳は次の距離より計測する。
 男子 5m30 女子 4m20
 9 女子走幅跳の予選通過記録は、5m45とする。
 10 砲丸投は次の距離より計測する。
 男子 8m00 女子 8m00
 11 四種競技の砲丸投の試技は3回までとする。
 12 フィールド種目の試技は、開始の合図から1分以内に試技を済ませなければならない。
 (制限時間を表示するタイマーを使用します。)

- 13 競技者は、学校名のアスリートビブスを胸背部に正しく付けること。(走高跳・走幅跳・棒高跳の選手は、胸部・背部のいずれか一方に着ければよい。)アスリートビブスのない競技者は出場できない。
 トラック競技の腰ナンバー標識は、招集所で受け取り、パンツの右側やや後方に着ける。競技終了後はゴール地点で役員に返却すること。
 共通男子3000m(胸背部)、男女1500mでは(胸部)別に数字のアスリートビブスを使用する。
 競技終了後は、ゴール地点で役員に返却すること。
- 14 競技のレーン順、試技順は、プログラムに記載されている順とする。決勝のレーン順は、番組編成の際、本部で行う。

- 15 招集について
 ① 招集は、すべて第4コーナーゲート付近で行う。
 ② 招集開始時刻・完了時刻は、プログラムに記載されている通りとする。
 ③ 選手は招集開始時刻から完了時刻までに招集所に集合すること。
 リレーのオーダー用紙提出は予選・決勝ともにルールにより、招集完了時刻1時間前までに競技者係に提出する。提出が遅れた場合は失格となる。なお、エントリーした6名以外の選手が走る場合にも、プログラムを参照し、該当選手名やページを記入し競技者係に提出する。オーダー用紙は、招集場に用意する。
 また、二種目出場する場合に招集時刻が重なる場合などは、二種目同時届を提出すること。
 ④ 代理人による招集の確認は原則として認めない。ただし、リレー競技を兼ねて出場する選手で、リレーの招集時刻に競技中で、招集に行けない場合は、同じチームの者がその旨を競技者係に伝えること。
 ⑤ 招集を受けていない競技者は棄権とみなして処理する。招集時刻に遅れた競技者は出場できない。また、招集所には、点呼を受ける競技者以外入らないこと。
 ⑥ 競技を棄権する場合、予選・決勝を問わず棄権届け(陸協指定の用紙)を競技者係に提出すること。用紙は招集所に用意する。

- 16 規定外の商標を競技場内に持ち込むことはできない。違反している場合は「商標隠テープ」を貼り処置する。
 17 トラック競技のゴール後は、最寄りのゲートより退場すること。
 18 補助競技場には学校からの練習用具の持ち込みはできない。また、ハードルは会場に設置してあるものを共用して使うこと。
 19 記録の発表は、正面玄関ロビー付近の掲示板にて掲示・発表する。
 20 表彰は、各種目の8位まで(リレーは3位まで)の入賞者に表彰状を授与するので、競技終了後、順位が確定したら、すみやかに正面ロビーに集合すること。
 21 男女の4×100mRについては、本大会の優勝校(学校単位チーム)が第48回全日本中学校陸上競技選手権大会の広島県代表チームとして権利を得ることができる。

第67回全日本中学生通信陸上競技広島県大会 連絡事項

1 学校受付及び役員受付

- (1) 学校受付は、7：30～とし、引率者は必ず学校受付をしてプログラムを受け取ること。
また、学校(チーム)受付終了後に、競技役員受付をすませること。
学校受付及び役員受付は、メインスタジアム正面玄関ロビーで行います。
※大会役員・並びに競技審判の方々も、「体調管理チェックシート」を2日間参加する場合は、1日目は見せて検温を行う。2日目に提出する。

※場所取りや学校受付のためのリストバンド渡しは、7：00から競技場正面玄関ロビーで行います。

- (2) 大会当日、各参加校(チーム)の引率者は、「体調管理チェックシート」を受付にて提出すること。

※「様式4と4-2：行動履歴書」は、選手・引率者・役員(審判)が記入し、各自、大会終了後1ヶ月間は保管となります。

万が一、大会参加関係者から、新型コロナウイルスの罹患者が出了場合には、保健所に提出をしますので、必ず保管しておくようお願い致します。

- (3) 役員の打ち合わせ会を8：25より競技運営室において行うので、役員は時間厳守で集合すること。

- (4) 開会式、閉会式は、今大会は行いません。(各種目の表彰は決勝終了後に準備でき次第行いますのでアナウンスなどをよく聞いておいてください。)

2 競技役員について

- (1) 競技役員については、別紙競技役員一覧表により運営しますが、欠席等により役員が不足するようなことがあれば引率の先生に競技役員をお願いすることもありますので、服装等については必ず留意しておいてください。
- (2) 競技役員は必ず役員受付を済ませること。なお、競技役員の服装は、男性は白の半袖カッターシャツかポロシャツにグレーのズボン、女性は白のブラウスカポロシャツにグレーか紺の服装でお願いします。ジャージは必ず避けること。
- (3) 競技役員は、その任務中は、任務に徹し、選手に対する助言、助力を行わないようにして、公正中立な立場で審判業務にあたること。

3 来場者について

- (1) 今大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みを全ての来場者の方々にお願いをする中で、スタンドでの競技観戦は約1000人を上限とした形で可能にしたいと思っております。
ただし、保護者の皆様方などの以下の要領でお願いしたいと思います。

① 事前に「来場者体調記録表」をご記入いただき、受付ロビーにてご提出いただき、その場での検温にご協力いただき、検温が済んだ方には「リストバンド」をお渡ししますので、それを付けられてスタンドに入場願います。このリストバンドがないと、スタンドへの出入りができません。

② 保護者の方々などの来場者の受付(来場者体調記録表・リストバンド渡し・検温)は、8：45より正面受付ロビーで行います。(2日間とも)

- (2) 卒業アルバムなどの写真撮影業者も8：45以降に受付で「来場者体調記録表の記入」をお願いし、検温とリストバンドの配布を行うことで入場を可能とします。
- (3) 参加選手は、できれば自分の出場種目のウォーミングアップ開始時間に合わせて来場し、競技が終了し、表彰などがある場合は、それを済ませてから速やかにクーリングダウンを行い帰宅することが望ましいものとします。

4 場所取りについて(競技場の開門は両日とも7：00)

正面玄関ロビーにて「体調チェックシート」を受付にて提出し、検温した人のみスタンドに入ることが出来ます。

- (1) 選手等の控え場所として、場所を取ることができるのは、次の場所である。ただし、スタンドも日陰の場所やスタンド裏も場所がせまいので、できるだけ各学校(チーム)とも必要最小限のスペースで場所を確保するようにしてください。
(お互いに気持ちよく少しでも多くの学校が待機できるようにお願いします。)

- (2) 場所取りをして良い場所(※1日ごとにシートなどは撤去してください。)

- ① 正面スタンド中段通路よりも上側のスタンド席
- ② 正面スタンド裏側のコンコース(イスなどは帰る際にもとにもどしてください。)
- ③ バックスタンド裏の通路沿い

- (3) 場所取り(テント設営)ができない場所

- ① バックスタンド、サイドスタンド
- ② 補助競技場内
- ③ その他、広域公園内の芝生や植え込みなどの部分

5 駐車場について

- (1) 砂利の駐車場は、基本的に競技役員用とします。
- (2) バスやマクロバスで送迎される学校(チーム)は、アスファルトの駐車場にて待機していただくようお願いいたします。(当日の駐車場の混雑を防ぐために)
- (3) 大会当日、競技場内における選手保護者の送迎についても、事前に混雑が予想されることをお伝えいただき、保護者の選手の送迎は、砂利の駐車場の下のアスファルトの駐車場にてお願いいたします。

6 練習会場の使用について

- (1) 練習会場は、補助競技場を使用すること。なお、17日(土)の9:00までと18日(日)の8:45までは、メインスタジアム内での練習も可能です。ただし、競技会場・各ピットの準備ができた後からの練習としますので、練習可能となりましたら放送で伝えます。

<メインスタジアムの朝の競技開始前の練習区分>

- 1~2レーン → 中長距離優先レーン
 - 3~6レーン → 短距離・リレー優先レーン
 - 7~8レーン → ハードル優先レーン(110mH: 8レーン、100mH: 7レーン)
- ※棒高跳以外のフィールド種目は、メイン競技場内では練習できません。

<補助競技場の練習区分> ※投てき練習はできません。

- 補助競技場は、直線8レーン、周回6レーンしかありませんので、選手は接触や衝突などの事故やけがに十分に注意して、1~2レーンは中長距離の周回優先とし、3~6レーンを短距離やリレーなど高速で周回を行う場合に使うようにお願いします。(逆走をしないこと)

- ホームストレートの直線には、7・8レーンに男女のハードル、4~6レーンにスタプロを時間帯により設置しています。

- トラック内の芝生部分は使用できません。
(メデイシンボールやゴム製などの練習用砲丸も含め、投てき練習は補助競技場内ではできない。)

- 補助競技場では、スターティングブロックおよびハードルを主催者で準備する。これらの練習用具は、学校からの持ち込みをしないこと。

- (2) メインスタンド下の雨天練習場は、今回使用できません。

7 競技会場の使用について

- (1) 競技者は、それぞれ当日、招集所で指示を受けた経路に沿って、スタート地点や競技ピットに向かい、競技終了後も指示された経路、ゲートより退場すること。尚、正面スタンド前は通らないこと。
- (2) 競技者は、招集所で招集とともに手のアルコール消毒を受け、待機している時なども、できるだけマスクを着用すること。
- (3) 短距離種目については、ゴール後はコースに沿ってカーブするよう事前に指導をお願いします。(選手同士の接触事故防止のため)

8 商標について(大まかに言うと名刺サイズ以上の大きさの商標は隠すことになります。)

- (1) 競技場内には以下の規定を満たしていない商標名の付いた衣類・バッグは持ち込みできない。特にバッグについては注意すること。(他のカバン、袋を準備するのが望ましい。)どうしても持ち込まなければならぬ場合や競技場内で発覚した場合は「商標隠テープ」を貼り処置をする。その処置によって持ち物が破損した場合、主催者は責任を負わない。
- ①上半身の衣類…製造会社のロゴ:大きさは四角形の面積30cm²以内、文字は縦4cm以内、ロゴ全体で縦5cm以内とする。ただし、トレーニングウェア上衣、Tシャツ、トレーナー、レインジャケットの製造会社名/ロゴ面積は40cm²以内とする。
 - ②下半身の衣類…製造会社のロゴ:大きさは四角形の面積20cm²以内の長方形、文字は縦4cm以内のものとする。
 - ③バッグ…製造会社のロゴは、2ヶ所に取り付けることができる。それぞれの面積は25cm²以内のものとする。

※具体的な例は、別紙の「競技場内における広告・展示物等の規則について」の資料をご覧ください。

- (2) 競技役員に指摘された場合は、その指示に従うこと。

6 その他

- (1) カメラ・ビデオでの撮影については、「撮影許可証」などの受付はありませんが、盗撮防止についての取り組みとして、撮影禁止エリアの設置や表示、スタンドの見回り、アナウンス等を行う予定です。生徒を通じて保護者へ周知をお願いします。
- (2) 保護者などが撮影された競技中の写真・映像などを、ネットの動画投稿サイトなどに掲載されることのないように周知徹底をお願いします。